2023年
安全報告書

◆ 福井城址大名町駅付近の大名町交差点を走行中の F2000 形 ◆

福井鉄道株式会社

目　次

1　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2　安全方針・安全重点施策　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
　・安全方針
　・安全行動規範
3　2023 年度安全重点施策　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
4　安全管理体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
　・安全管理体制組織図
5　安全対策の実施状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
　・設備更新による安全対策
　・教育・訓練
　・事故防止啓発活動
　・新型コロナウイルス対策
6　事故等の発生状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
　・鉄道区間
　・軌道区間
7　お客様・沿線の皆様へのお願い　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
8　安全報告書への意見募集　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

1　はじめに

平素は福井鉄道をご利用頂きまして誠にありがとうございます。

また、地域の皆様には、当社の鉄軌道事業、自動車事業の運営にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社が運営しております鉄軌道事業、自動車事業にとりまして「安全の確保」は何よりも優先されるべきものであることは、毎年この場を借りて申し上げているところであり、本年もお客様に安心してご利用いただけるよう、安全性の向上に取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症の拡大は 3 年間にわたり、交通事業者として大きく影響を受けましたが、安全・安心のサービスを地域のお客様に提供していけるよう輸送体制の確保を行うほか、引き続き、安全衛生、健康管理に対する取り組みを進めてまいります。

この報告書は、輸送の安全確保のための安全対策、取り組みを広くご理解頂くために公表するものであります。

今後、より一層輸送の安全への取り組みを充実させるため、皆様からのご意見・ご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

代表取締役社長

村田治夫

2　安全方針・安全重点施策

安全方針

安全方針

1. 「安全の確保はすべての事業の根幹である」との認識のもと、「安全を最優先」し「地域に親しまれ共に歩む鉄道」を実施します。

2. 「安全対策に終わりはない」ことを念頭に、継続的な改善に取組み安全管理体制の向上を目指します。

3. 関係法令・規程の遵守の徹底を図り、コンプライアンス体制を確立します。

4. 従業員一人一人が「考え、変わり、行動する」ことにより安全意識を高めていきます。

安全行動規範

安全行動規範

1　一致団結して、輸送の安全の確保に努めます。

2　輸送の安全に関する法令および関連する規定をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。

3　常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。

4　職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。

5　事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。

6　情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。

7　常に問題意識を持ち、必要な変革に取り組むよう努めます。

8　高齢の方、障害のある方を含めすべての利用者が、駅、車内等すべての場所で安全・円滑・快適が確保されるよう取り組みます。

3　2023 年度安全重点施策

具体的な目標

目　標　値
鉄道運転事故「ゼロ」、運転事故（軌道）「ゼロ」
インシデント「ゼロ」
当社の車両、設備、人的原因による輸送障害、道路障害「10 件」
労働災害「ゼロ」
応対に関するお客さまの苦情「ゼロ」
旅客数「200.7 万人」
業務改善・提案「一人３件」

重点取組み

◆2023 年度重点的に取り組むこと

■事故等の未然防止のため
1 設備等の更新、維持修繕等ハード施策による安全の向上 2 確実な作業の徹底（入換・保守点検等における社員間による復唱の完全実施） 3 ヒヤリハット等に関する取組みの効果的な運用 4 施設設備・車両、運行・駅務等に関する教育訓練の実施状況管理の徹底 5 警察、消防、道路管路者等関係機関を交えた会議、訓練等の実施 6 乗務員の基本動作（信号確認、停車駅確認、運転指令通告復唱、指差確認等）の徹底 7 施設・車両の保守管理体制（本社と現場との間の連携及び現場における作業の実施体制）の強化
■お客さまの安全確保のため
1 災害時等における他鉄道事業者との連携に基づく計画運休・運転再開の実施、適切なタイミングでの運行情報の提供 ２鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策 【従業員に関する対策】従業員の健康管理の徹底状況や休憩・休息スペースにおいて、換気の励行の徹底に努める等） ３　ホームにおける安全確認及び視覚障害者等への声かけの実施並びに旅客への周知
■安全確保最優先企業風土醸成のため
1 現場主義の徹底による迅速な課題解消 2 経営管理部門を含む各種教育・訓練による継続的な人的対応力、組織対応力の向上 3 内部監査体制の充実等による運輸安全マネジメント体制の強化 4 運輸安全マネジメントの中間レビューによる改善等継続的な取組み
■労働災害防止のため
1 施設・車両の保守作業を行う係員への教育訓練の実施

2 社員の健康管理の徹底
3 保守作業時等における安全管理体制（保守作業時における係員の触車事故等の防止対策、作業後の安全確認の徹底、請負業者への安全確保に係る指導・監督体制）の充実

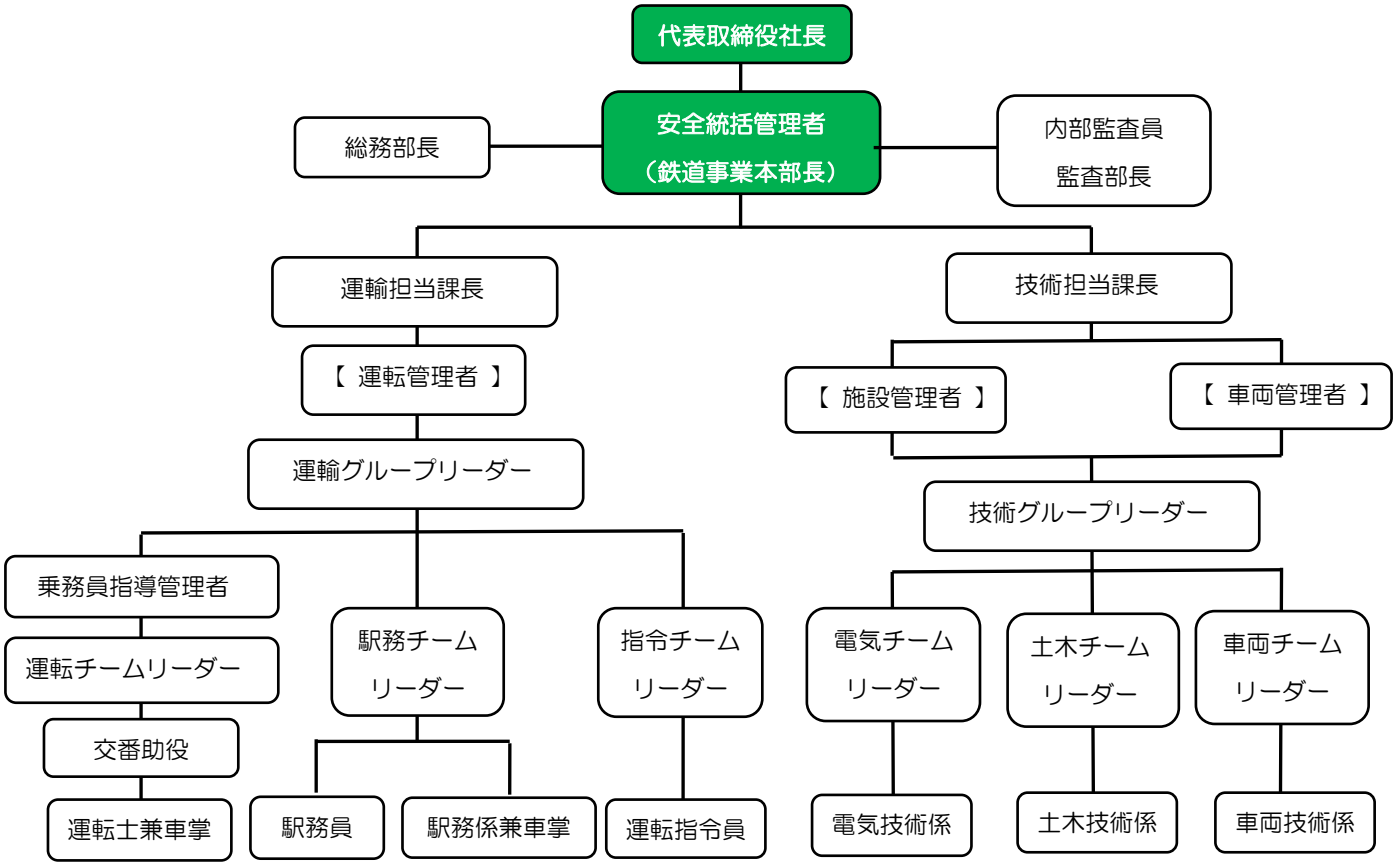
■主な設備更新

1 線路設備更新（レール・分岐器・軌道道床・橋梁・ポイント融雪設備の更新）
2 防護設備（法面固定）
3 その他設備（除雪車両の更新）

4　安全管理体制

平成 18 年 3 月の鉄道事業法改正を受け、「安全管理規程」を平成 18 年 10 月に制定しました。安全に関する体制を整備し、責任を明確化したうえで安全性向上のための施策を確実に実行し、確かな安全を築き上げていくこととしました。

安全管理体制組織図



役職	責任体制
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運転管理者	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する
施設管理者	安全統括管理者の下、施設に関する事項を統括する
車両管理者	安全統括管理者の下、車両に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する

5　安全対策の実施状況

設備更新による安全対策（電車線の更新）

区　　分	内　　容	場　　所
電路設備	電柱更新工事	北府駅～花堂駅間

◆電柱更新

老朽化した木製の電柱をコンクリート製と交換し、電車線の安定性を向上しました。

施工前

施工後

施工前

施工後

施工前

施工後

主な設備更新による安全対策（線路設備・防護設備）

区　　分	内　　容	場　　所
線路設備	分岐器交換	水落駅１Ｓ・２ｗ、江端駅１ｗ・２Ｓ

◆分岐器交換

分岐器を交換し、軌道の耐久性と運行の安定性の向上を図りました。

施工前

施工後

施工前

施工後

施工前

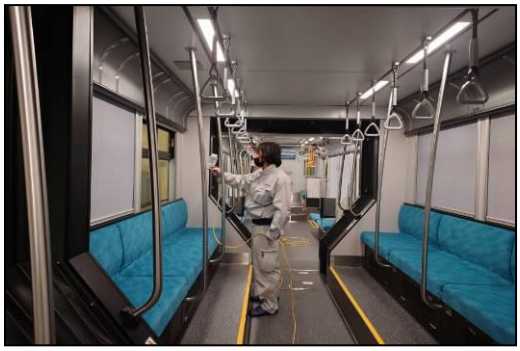
施工後

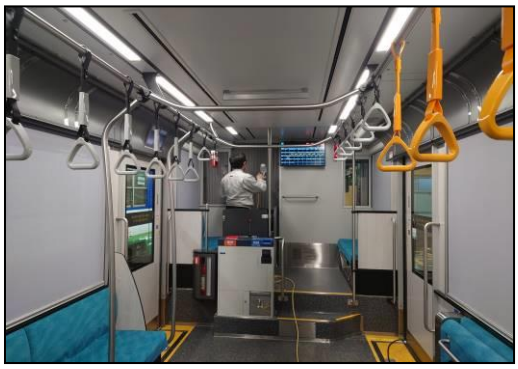
◆抗菌抗ウイルス施工

たけふ新駅観光交流プラザ及び F2001 号車の車内の抗菌抗ウイルス施工を実施しました。

駅・抗菌抗ウイルス施工

車両・抗菌抗ウイルス施工





車両更新

新型車両 F2000 形の導入

≪主要諸元表≫

項目	諸元
車種	3 車体連接電動客車［アルナ車両製　リトルダンサー　タイプ L］
質量	33.0 t
定員（　）内座席	115 人（座席 43 人）
最大寸法	長さ 21,400mm　幅 2,600mm　高さ 3,830mm
電気方式	DC600V
軌間	シングルアーム式
制御方式	VVVF インバータ制御
ブレーキ方式	回生・発電ブレーキ併用電気指令式空気ブレーキ
主電動機	三相誘導電動機　60kw×3
加速度	2.5km/h/s
減速度	常用：4.4km/h/s　非常：5.0 km/h/s
最高運転速度	70 km/h
台車	先頭車　ボギー台車　車輪径φ660 mm　平行カルダン駆動 中間車　ボルスタレス台車　車輪径φ610mm
冷房装置	屋上集中式 24.2kw（21,000kcal/h）2 台
身障者対応設備	車椅子スペース、ステップレス乗降（100%低床）

教育・訓練（運転士）

車両故障対応の勉強会

新型車両の習熟訓練

運転士養成

約9ヶ月におよぶ講習と訓練、学科試験及び実技試験の受験を経て運転士となります。

〈実技試験の様子〉

教育・訓練（駅係員運転業務）

接客技術の向上

車椅子・視覚障害者の介助方訓練

教育・訓練（指令員）

信号故障時の運転取扱い方実設訓練

教育・訓練（土木）

踏切補修方法について勉強会

軌道狂い検査訓練

教育・訓練（電気）

鉄道電気の電路設備に関する勉強会

変電所点検についての訓練

教育・訓練（車両）

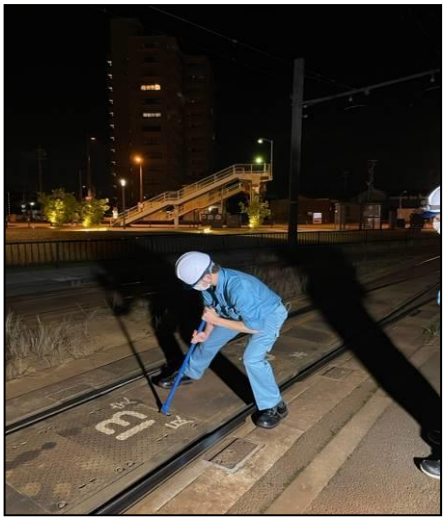
検査の考え方と安全作業の勉強

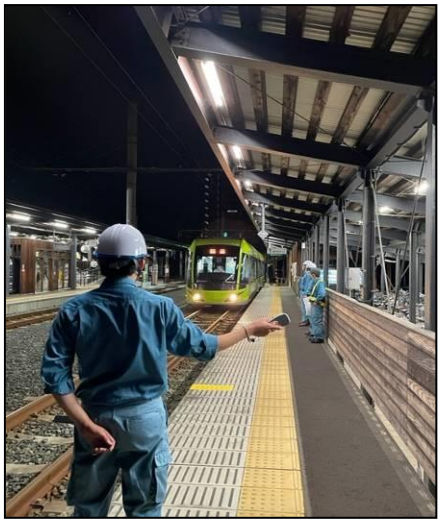
シリンダー修繕の訓練

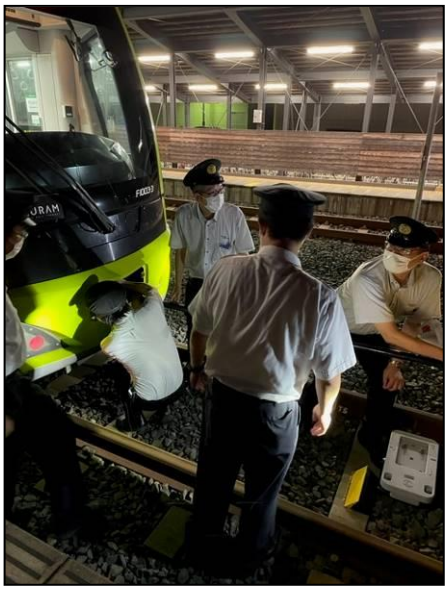
除雪車両操縦訓練

えちぜん鉄道との異常時想定訓練

平成28年3月27日より、えちぜん鉄道様との相互乗入が開始された事にともない、えちぜん鉄道様と合同で訓練を実施しており、2022年度も田原町駅において信号故障となった場合の車両の入換と連結ついて双方の駅務員を対象に訓練を実施し、また、運転指令員間の連絡体制についても確認いたしました。







福井県や市民団体と共同で、夏と秋の交通安全運動週間に合わせ、福井駅停留場付近において福井市内における車両接触事故防止の広報・啓発活動を行ないました。

7月11日

9月21日

◆線路横断禁止看板の設置

沿線住民のご意見により線路横断禁止の看板を設置しました。

施工前

施工後

新型コロナウイルス対策

福井鉄道では、お客様に安心して電車にご乗車いただくため、感染症対策を推進しております。

(1) 有人各駅構内及び車両内にお客様向けアルコール消毒液の設置

(2) 車両や駅の抗菌・抗ウイルス加工の実施

(3) 駅の出入口・券売機・窓口カウンター等のアルコール消毒液等による消毒

(4) 電車内の、お客さまが触れやすい、つり革、手摺り、座席、両替機等のアルコール消毒液等による消毒

(5) 駅務員・運転士全員のマスク着用及び検温等による健康管理

(6) 窓を開けながらの列車の走行や車内強制換気、駅停車中の乗降口の開扉等による車内換気

感染症対策へのご協力のお願い

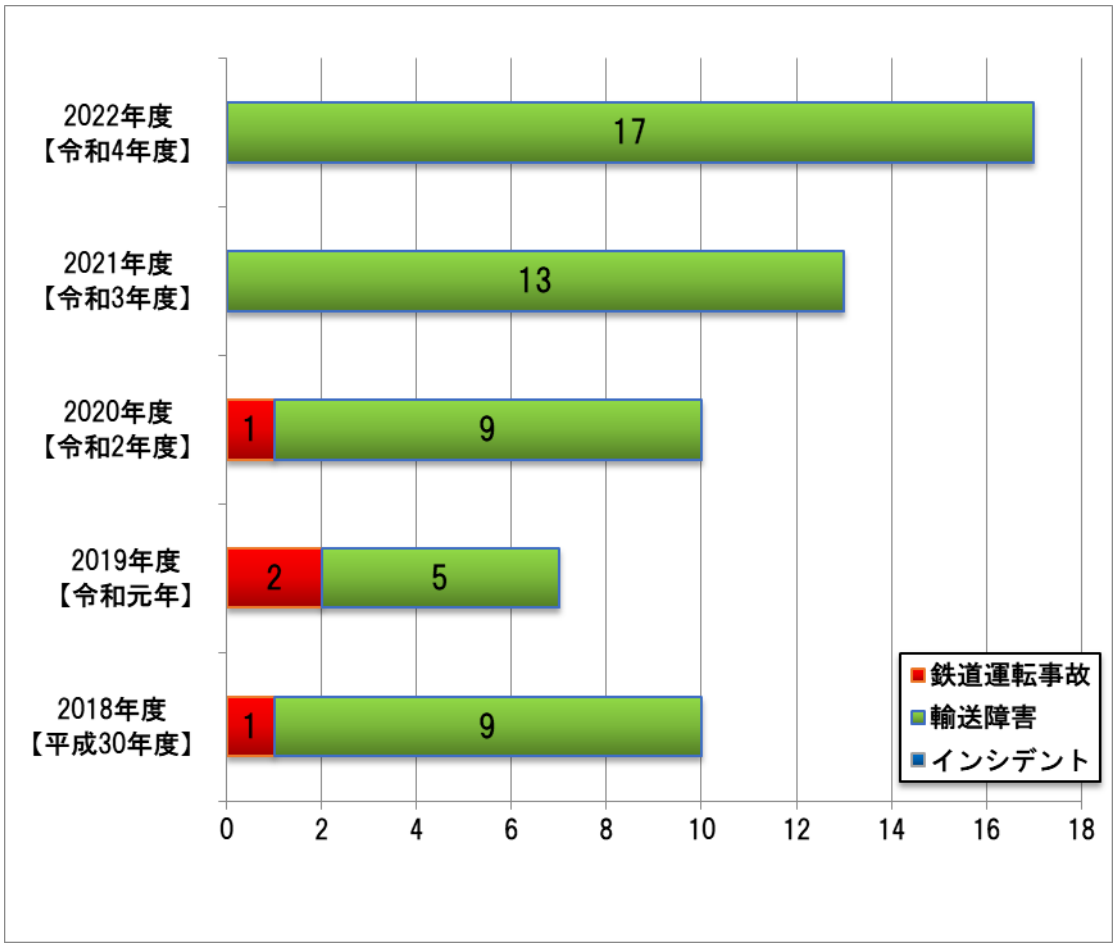
新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は「手洗い」や「マスク着用を含む咳エチケット」です。
くしゃみや咳が出る時や大声を出す時などにウイルスが含んでいるかも知れません。
「咳エチケット」を含め、感染症対策にご協力お願いいたします。
新型コロナウイルス感染拡大予防に、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

6　事故等の発生状況

令和４年度に発生した鉄道運転事故等は次のとおりです。

鉄道区間

単位：件



◆鉄道区間

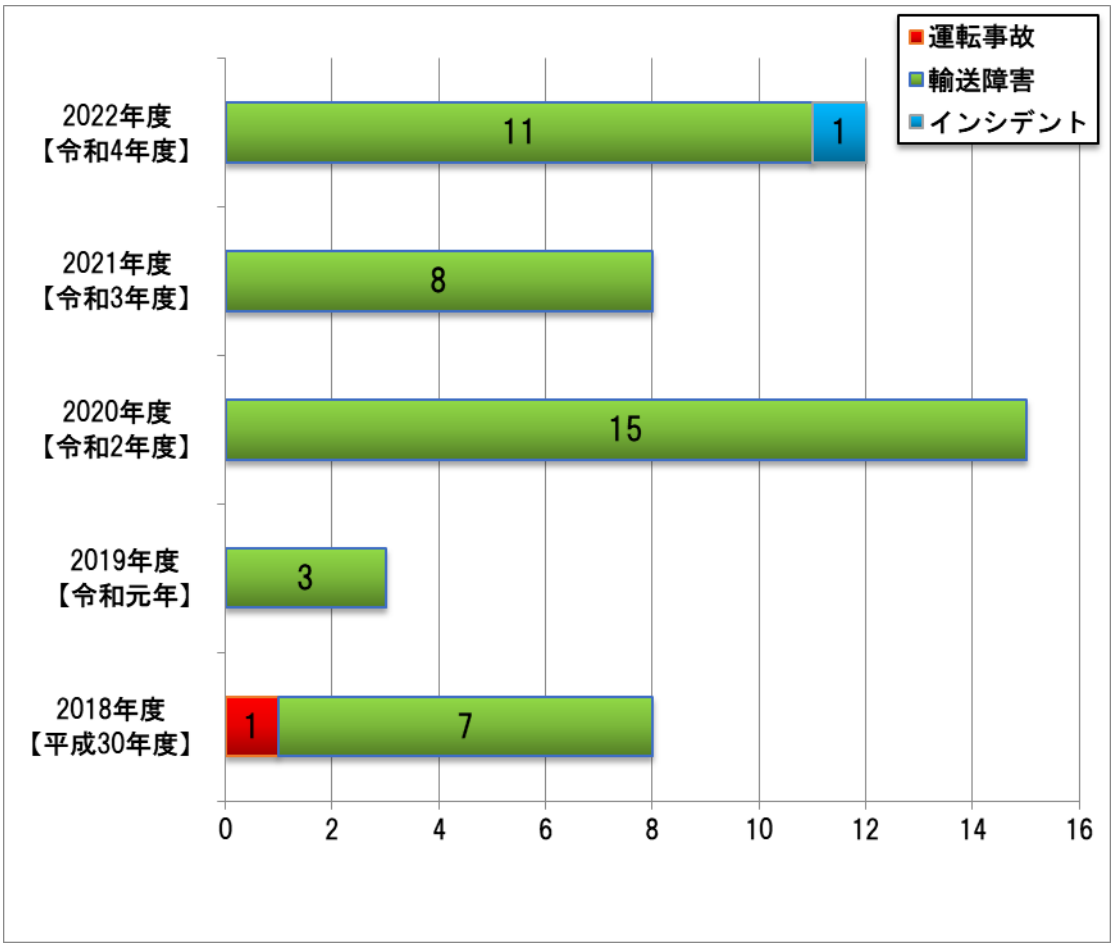
※鉄道運転事故とは省令に定められた列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故をいいます。

※輸送障害とは、鉄道運転事故以外で列車に運休又は、30 分以上の遅延が生じたものをいいます。

※インシデントとは鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。

軌道区間

単位：件



◆軌道区間
※運転事故とは省令に定められた車両衝突事故、車両脱線事故、車両火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、人身障害事故、物損事故をいいます。
※輸送障害とは、運転事故以外で列車に運休又は、30 分以上の遅延が生じたものをいいます。
※インシデントとは運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。

7　お客様・沿線の皆様へのお願い

事故防止のために

1. 歩きスマホは他のお客様との衝突や、ホームからの転落等の危険がありますのでご遠慮下さいますよう、ご理解とご協力をお願いいたします
2. ホームでは黄色い線の内側でお待ち下さい。また、線路内への立ち入り、置石や投石は大きな事故のもとになりますのでおやめください。
3. 踏切では必ず一旦停止して左右を確認し、踏切警報機が鳴り出したら踏切道内に入らないで下さい。また、踏切道内に車などが停止している等、異常を発見した際は、警報機付近にある非常ボタンを強く押してください。異常を列車に知らせることができます。
   また、万が一、車が踏切内にて閉じ込められるような事態になった場合は、遮断桿を押すように、ゆっくりと車を前進させて脱出してください。
4. 電車内には危険物の持ち込みは禁止されております。また、不審物等を発見した際は係員までお知らせ下さい。
5. 白杖を持った目の不自由な方には、声をかけて危険な場所を説明しましょう。
6. 電車は事故防止のため、やむを得ず急停車することがありますので、お立ちのお客様は、つり革や手すりにおつかまりください。
7. ベビーカーをご利用のお客様は、混雑時は他のお客様へのご配慮をお願いいたします。また、走行中はストッパーをかけ、手を離さないようご注意願います。
8. 沿線で木竹が線路に倒れ込むと、線路をふさいで電車が運行できなくなったり、電車に衝突して乗客が怪我をされたり、電線に引っかかり信号トラブルや感電事故が発生したりするなど、大きな事故に繋がる恐れがあります。
   福井鉄道でも倒れ込みそうな木竹がないか巡視点検を行なっていますが、地権者様ご自身で所有地に線路に倒れ込みそうな木竹がないか注意し、倒れ込みそうな木竹がある場合は伐採するなど管理をお願いいたします。なお、緊急の場合は当社で伐採させていただきますのでご協力ください。
   また、危険な状態で放置されていた木竹が原因で事故が発生した場合は、地権者様に損害賠償を請求させていただく場合がございます。
   ※線路近くで伐採する際は、木竹が線路に倒れ込んで事故が発生する恐れもありますので、線路近くで伐採される時は福井鉄道までご相談ください。

8　安全報告書への意見募集

安全報告書の内容や当社の取組みについてのご意見をお寄せください。

福井鉄道株式会社　鉄道事業本部 〒915-0802　福井県越前市北府2丁目5番20号 電話番号　0778―21―0706 Fax番号　0778―21－0704 平日の8:30～17:00 ※土休日、年末年始は除きます。	**ホームページアドレス** http://www.fukutetsu.jp/ **メールアドレス** info@fukutetsu.jp